

百年の信頼を、未来につなげる

2017年3月期 中間決算説明会

株式会社鳥羽洋行

2016年11月25日

証券コード：7472

- 1. 2017年3月期中間決算の状況**
- 2. 2017年3月期下期の予想**
- 3. 販売拡大に向けての下期の活動**

1. 2017年3月期中間決算の状況

2017年3月期上期の概要



- ◆ 国内製造業における設備投資は足踏み状況が続いており、当社グループの売上高は前年同期比較で1.1%減少。
- ◆ 国外（中国）の状況は、人件費高騰に対応するための省力化・自動化ニーズが続き、F A 機器の需要が好調。
- ◆ 国内における得意先からの要求が厳しく、前年同期比で粗利率は0.5ポイント低下。
- ◆ 4期前から取り組んできたフィルター（日本インテグリス株）は好調継続。

<損益の状況>

（単位：百万円）

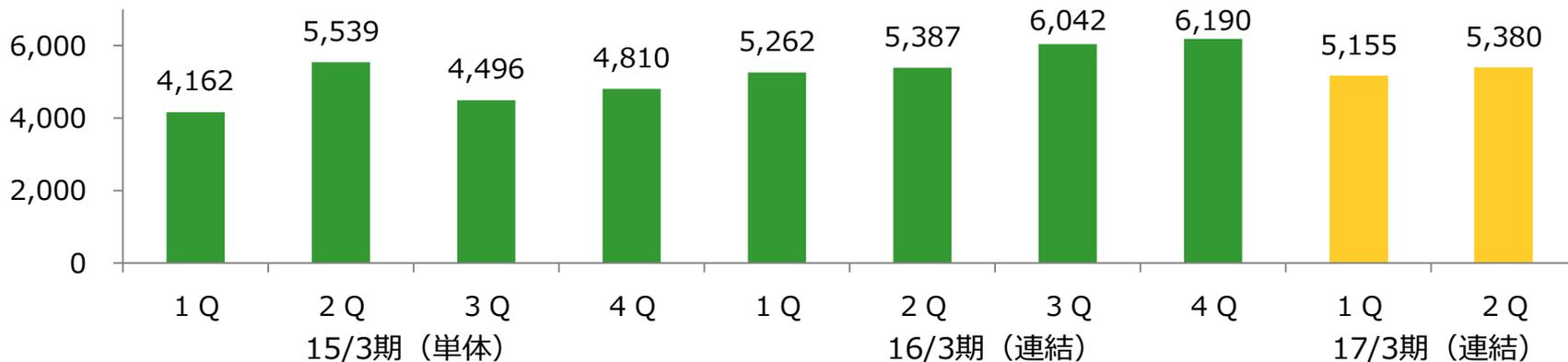
	16/3上期	17/3上期		
	金額	金額	前年同期比	従来予想
売上高	10,649	10,536	△1.1%	10,600
営業利益	552	464	△16.0%	490
(営業利益率)	(5.2%)	(4.4%)	(△0.8P)	(4.6%)
経常利益	596	505	△15.2%	540
(経常利益率)	(5.6%)	(4.8%)	(△0.8P)	(5.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	387	338	△12.5%	360

四半期別業績推移



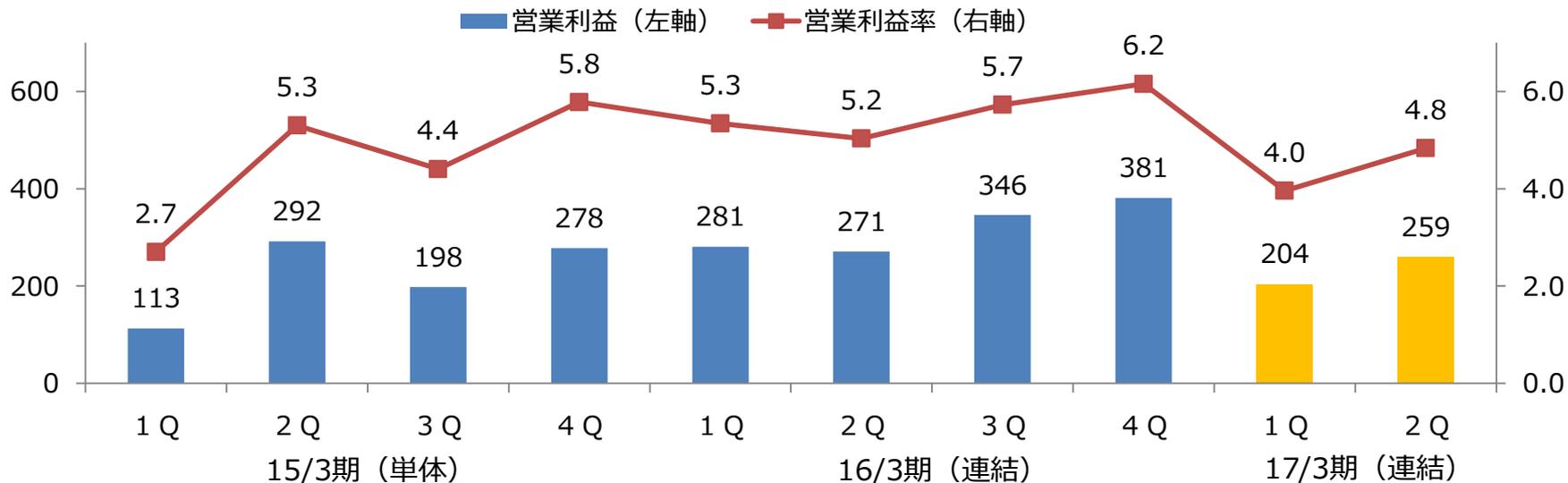
四半期別 売上高推移

(単位：百万円)



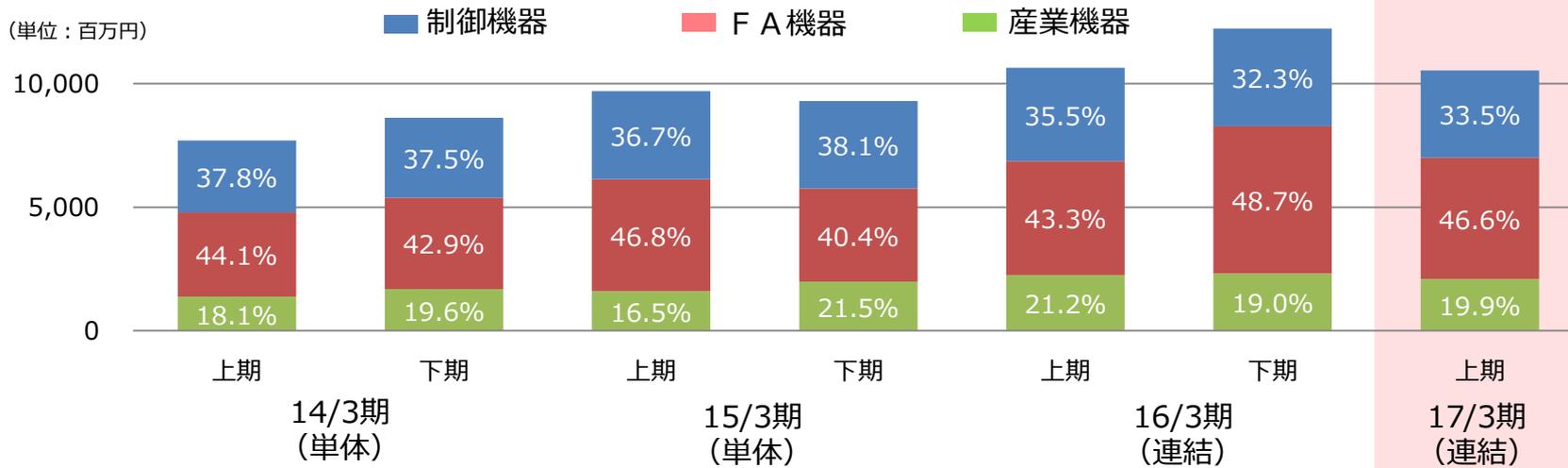
四半期別 営業利益/営業利益率の推移

(単位：百万円、%)



(注) 16/3期より連結財務諸表を作成しているため、15/3期までは単体ベース。

取扱商品別売上構成比推移



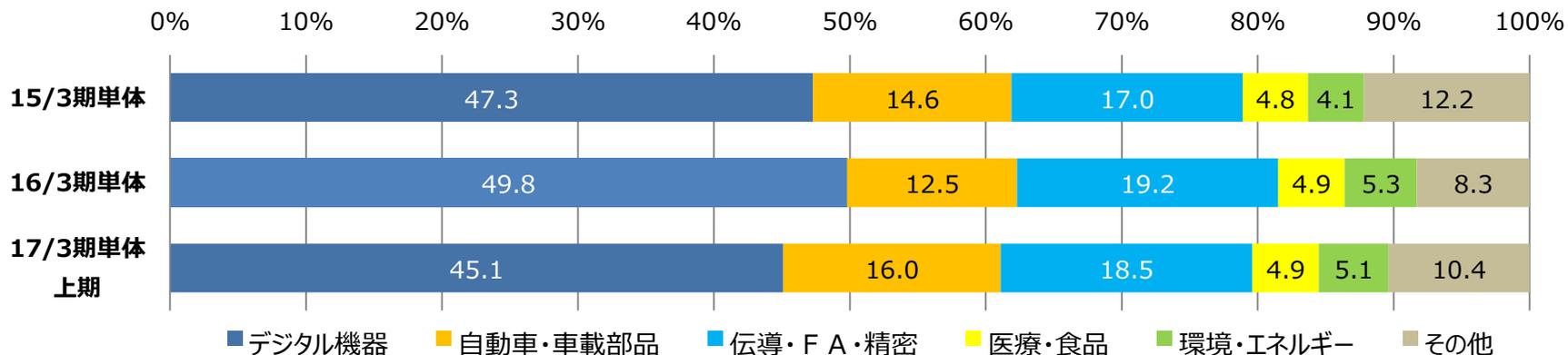
<部門別の概要>

制御機器	<ul style="list-style-type: none"> ● 主力の空気圧機器と流体継ぎ手は、物流機器メーカーからの需要は堅調を維持したが、半導体製造装置及び精密関連の得意先における需要は予想を下回った。 ● 位置決めピン、ロボットハンドチェンジャーは、産業機械等の得意先向けに需要は旺盛であった。
F A 機器	<ul style="list-style-type: none"> ● FAロボットは、国内外の得意先において自動化及び省力化機器ニーズが継続し、高い需要が続いた。 ● 表面実装システムは、自動車・車載部品及び電子機器に関連する得意先向けに大幅に増加した。 ● 中国では、前期に続いて F A 機器需要が好調を維持した。
産業機器	<ul style="list-style-type: none"> ● ろ過フィルターは、継続して好調続く。 ● 電動ドライバーも幅広い得意先向けに需要は堅調であった。 ● ネジ締め機器及び無人搬送車等は、自動車関連の得意先向けに需要は好調であった。

業種別売上構成比（単体）と概要



業種別売上構成比推移



<業種別売上構成比（単体）の概要>

◆ デジタル機器

- ▶ 有機 E L 実用化に向けて設備投資需要は増加傾向で、スマートフォン、タブレット端末に関連する得意先の設備投資ニーズは、一服感があるものの堅調維持。
- ▶ 半導体製造装置に関連する得意先の設備投資ニーズは横ばい。
- ▶ 自動車の安全性・省エネ化（衝突防止装置関連及び電子化）に関する設備投資ニーズは引き続き堅調。

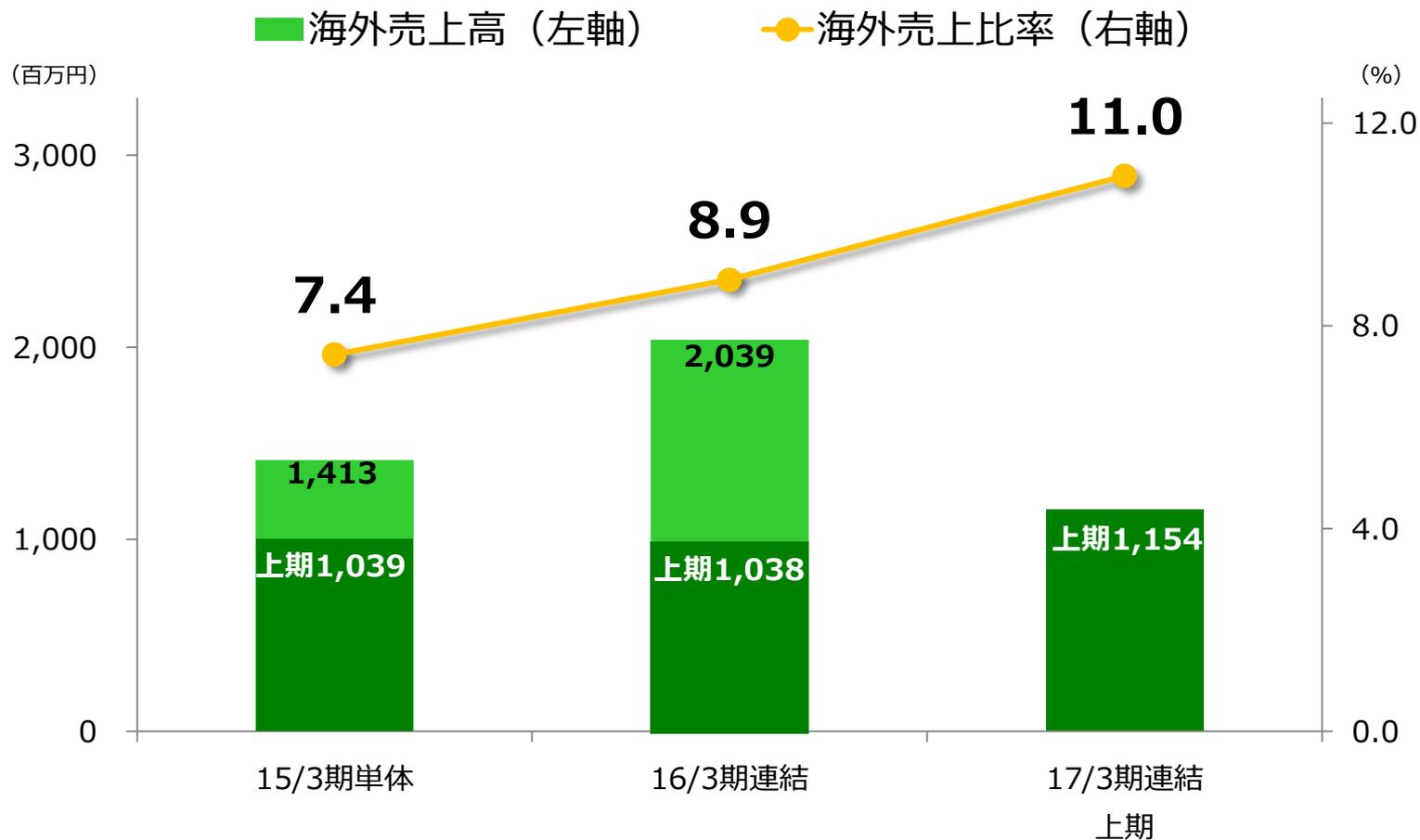
◆ 自動車・車載部品

- ▶ 国内の自動車販売の伸び悩みの影響で、国内の設備投資向けはやや低迷。
- ▶ 海外（北米・ヨーロッパ中心）向け自動車・車載部品関連の得意先の設備投資は、堅調維持。

◆ その他

- ▶ 「伝導・F A・精密」の得意先の設備投資需要は好調続く。
- ▶ 「医療・食品」、「環境・エネルギー」の得意先の設備投資需要は好調続く。

(ご参考)



(*) 16/3期より連結財務諸表を作成しているため、15/3期は単体ベース。

貸借対照表



(単位：百万円)

	16/3末	構成比	16/9末	構成比
流動資産	17,395	80.8%	16,701	82.4%
現金・預金	7,653	35.5%	8,385	41.4%
受取手形・売掛金※1	9,536	44.3%	8,098	39.9%
商品	82	0.4%	95	0.5%
固定資産	4,142	19.2%	3,575	17.6%
資産合計	21,537	100.0%	20,276	100.0%
流動負債	6,730	31.2%	5,658	27.9%
支払手形・買掛金※2	5,998	27.9%	5,199	25.6%
固定負債	250	1.2%	243	1.2%
(有利子負債)	-	-	62	0.3%
負債合計	6,980	32.4%	5,901	29.1%
純資産合計	14,557	67.6%	14,374	70.9%
負債純資産合計	21,537	100.0%	20,276	100.0%

上海子会社の
短期借入金

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

キャッシュフロー計算書



(単位：百万円)

	16/3 上期	17/3 上期
営業キャッシュフロー	335	649
投資キャッシュフロー	285	△26
財務キャッシュフロー	△258	△364
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△26
現金及び現金同等物の増減額	367	231
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	285	—

売上債権の減少等

配当金の支払い
及び上海子会社の
短期借入金

現金及び現金同等物の期末残高

6,978

7,584

2. 2017年3月期下期の予想

下期の経営環境 <想定される変動要因>



< 国外 >

- 米国で新大統領誕生により、日米貿易に変化が起きる可能性が高まる。
⇒ TPP・NAFTA・為替変動・原油価格 等
- 欧州経済が上向いてきたことで、欧州向けに輸出している業種（自動車・精密）にメリットが生じる。
- 中国経済も内需効果で景気は堅調を維持しており、将来の不安定要因はあるものの、当面は堅実なFA機器需要は続く環境である。

< 国内 >

- スマートフォン、タブレット端末に続く、ヒット商品が出現していないため、電子・精密機器等は当面は苦戦がつづくものと予想。
- あらゆる産業でIoT化が進展し、半導体等のニーズが高まると予想、半導体製造装置関係の設備投資ニーズ増加を予想。
- 電子・精密・家電の得意先において、医療機器分野に参入する動きあり。
- 有機ELの実用化により、同分野に関連する得意先の設備投資ニーズの増加を予想。

2017年3月期業績予想



(単位：百万円)

<損益予想>	16/3期	17/3期予想	前期比 (増減率)
売上高	22,881	22,500	△1.7%
営業利益	1,279	1,090	△14.8%
(営業利益率)	(5.6%)	(4.8%)	(△0.8P)
経常利益	1,379	1,180	△14.5%
(経常利益率)	(6.0%)	(5.2%)	(△0.8P)
親会社株主に帰属する 当期純利益	895	800	△10.7%

<部門別予想>	16/3期		17/3期予想			
	実績	構成比	上期	下期	通期	構成比
制御機器	7,732	33.8%	3,526	4,074	7,600	33.8%
F A 機器	10,560	46.1%	4,914	5,486	10,400	46.2%
産業機器	4,587	20.1%	2,095	2,405	4,500	20.0%
連結売上高	22,881	100.0%	10,536	11,964	22,500	100.0%

3. 販売拡大に向けての下期の活動

- 販路開拓（設備投資需要増加の望める業種への攻勢強化）
 - ▶ 国内外ともに自動車の電子化ニーズのための設備投資需要の取り込み。
 - ▶ 実用化段階に入る有機 E L に関連する得意先の取り込み。
 - ▶ 内需型製造業（住宅・医療機器等）の需要開拓。
 - ▶ ミニ展（当社主催の小規模展示会）等の積極展開。

- 有望商品の発掘
 - ▶ レーザー溶接機・ろ過フィルターに続くヒット商品の発掘。

- 電子カタログ利用の推進

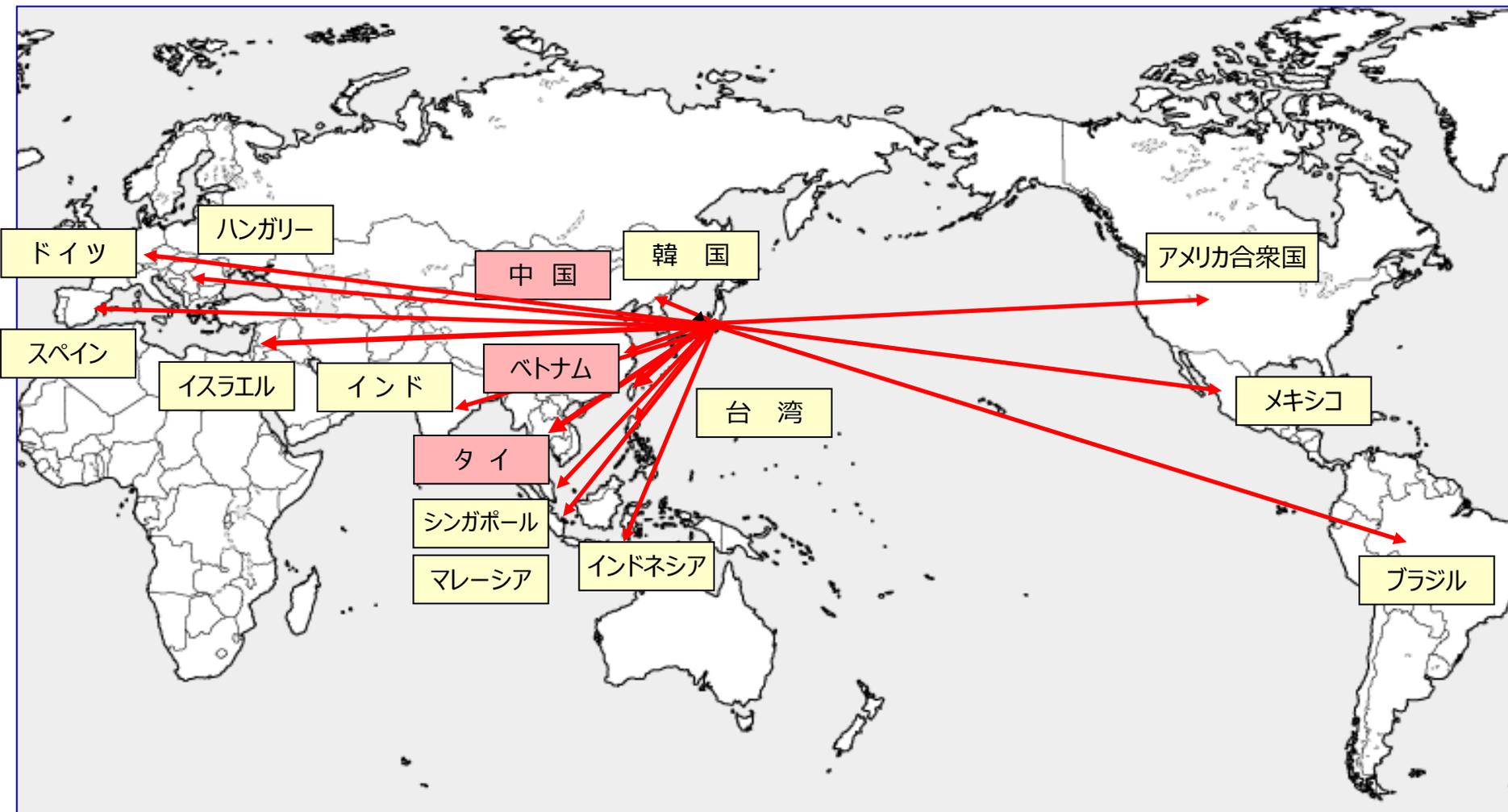
- 新規代理店の獲得(新商品開発)

- 新しい海外進出候補地域の検討

ご参考① 海外戦略強化の状況



日系企業中心に拡大する当社取引



ご参考② 新商品開拓の活動事例



★各種展示会への参加及び自社でのミニ展示会を実施

『次世代の製造現場を変える新商品』をテーマとして、7月7日・8日に本社ビル（東京都文京区）及び7月14日・15日に大阪営業所にて、複合型の展示会を開催しております。また、全国各拠点でも、各種展示会を随時開催しております。



接着剤やオイルの
精密塗布用途 **Tofutty** 特許
電動ディスペンサー 出願中

特徴

- 優れたホータビリティ
- 小型（長さ 149mm × 幅 22.5mm × 高さ 38mm）
- 軽量（75g）
- コードレス（電源やコンプレッサーとの接続不要）

高精度吐出

- 高精度液体の精密高精度吐出（0.1μm²）
- 当社の8マイクロアクチュエータによる押し出し制御

用途

接着剤

- UV接着剤
- エポキシ接着剤（二液性）
- ネジロック

オイル

- シリコン系オイル
- フッ素系オイル



電動ディスペンサー（株）アイカム・ラボ

この資料には、弊社の2016年11月18日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X 番号：03-3944-4091

Eメール：kanri-01@toba.co.jp